

令和6年 第3回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第3回定例会が開催されるに当たりまして、第2回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

和木町教育親善使節団の受入について	はじめに、和木町教育親善使節団の受入について申し上げます。 姉妹都市である山口県和木町との教育親善使節団の派遣事業は、昭和56年から実施しており、今回で24回目となりました。 本年度は、和木町から恵庭市に派遣される年で、8月6日から8日までの3日間、小中学生4名と引率者2名の計6名を受け入れ、交流を行いました。 恵庭市の児童生徒12名と一緒に「郷土資料館」での体験プログラムや「はなふる」での視察のほか、札幌市の施設やエスコンフィールドを見学し、和木町と恵庭市の児童生徒が交流を深めたところであります。
全国中学校体育大会の参加について	次に、全国中学校体育大会の参加について申し上げます。 8月18日から新潟県で開催された全国中学校剣道大会の団体戦に恵明中学校男子チームが、個人戦に同校の男子1名が出場いたしました。 また、8月17日から福井県で開催された全国中学校陸上競技大会の男子1500メートルに恵庭中学校の男子1名が出場した他、北海道ハイテクACアカデミー所属の恵み野中学校と恵明中学校の男子により構成されたリレーチームが、決勝で7位入賞という成績を収めました。
いじめ防止について	次に、いじめ防止について申し上げます。 7月23日、市民会館にて、いじめについて考える「なかよしさわやかDAY」全市交流会を児童・生徒44名と、教職員をあわせ86名の参加のもと開催いたしました。「いじめをなくすために、わたしたちにできること……」をテーマに、小・中学生が混合となり7つのグループを編成し、様々な角度から「いじめ」について考え、活発な意見交

	換が行われました。今後もいじめの根絶に向けて、学校や家庭・地域・関係機関と連携して取り組んでまいります。
通学路の安全確保について	次に、通学路の安全確保について申し上げます。 道路管理者や警察などを構成員とする恵庭市通学路安全推進会議と連携して、7月29日に通学路の合同点検を実施いたしました。今後は、点検結果を踏まえ関係機関や担当部局と対応策等について協議し、各学校へ報告することとしております。
子どもたちの体験活動について	次に、子どもたちの体験活動について申し上げます。 子どもたちが様々な体験活動を通して興味・関心を持ち、夢を育むことを目的としたえにわ子ども塾事業として、6月16日に「おもしろ理科実験教室」を千歳科学技術大学理工工房のご協力のもと開催し、64名の小学生が参加し、科学実験を体験しました。 また、島松小学校区では7月29日にサマーキャンプが、恵庭小学校区では8月29日から9月1日にかけて通学合宿が、恵み野小学校区では8月31日にお仕事体験事業が開催され、多くの小学生が体験活動を楽しみました。
ジュニアリーダーの養成について	次に、ジュニアリーダーの養成について申し上げます。 恵庭市子ども会育成連合会との共催により、8月10日から12日までの2泊3日で、ジュニアリーダーの養成を目的とした「前期えにわっ子ジュニアセミナー」を開催いたしました。市内の小中学生20名の参加があり、野外炊事などを通してリーダーの心構えを学ぶ機会といたしました。

文化芸術活動の推進について	次に、文化芸術活動の推進について申し上げます。 郷土芸能の振興保存と伝承活動を推進するため、「恵庭すずらん踊り保存会」と「恵庭岳太鼓保存会」の活動を支援しておりますが、夏祭りなどに出演し、市内各所でおおいに活躍したところであります。 今後も芸術の秋に向け、個人、文化団体及びサークルなどの活動成果を発表する市民文化祭を開催するなど、市民の文化芸術活動の推進に努めて参ります。
学校図書館活動について	次に、学校図書館活動について申し上げます。 7月9日に「司書教諭等及び学校司書合同研修会」を実施し、“学校図書館での新聞活用法”についての研修を行いました。また、9月10日に「学校司書研修」を実施し、他校の学校図書館における図書等の配置や展示を見学し、児童生徒に魅力ある学校図書館づくりの参考となるよう情報交流を行いました。
子どもの読書活動の推進について	次に、子どもの読書活動の推進について申し上げます。 7月31日に図書館本館において、調べる学習講習会を開催し、図書館を使って調べる学習コンクール作品作成にあたっての、調べ方やまとめ方についてのポイントを説明し、児童生徒の自ら学ぶ意欲を高める機会といたしました。 また、夏休み期間中「調べ学習サポーター」のバッジを付けた図書館司書が夏休みの自由研究・調べ学習のサポートを実施し、展示コーナーでは、過去の入賞作品の展示を行いました。
図書館シンポジウムについて	次に、図書館シンポジウムについて申し上げます。 6月22日に市立図書館の老朽化による施設改修にあわせ、新たな図書館サービスや役割について考える「図書館シンポジウム」を開催い

	たしました。市内在住の作家 高杉六花氏の基調講演と、中学生や読み聞かせボランティア代表等によるパネルディスカッションが行われ、43名の参加者とともに図書館について考える機会となりました。
郷土資料館事業について	次に、郷土資料館事業について申し上げます。 郷土資料館では、7月6日から8月25日までかつて島松にあった陶芸工房の作品展として「鈴蘭窯展」を、8月1日から8月29日にかけて「戦争資料展」を開催いたしました。
埋蔵文化財関連事業について	次に、埋蔵文化財関連事業について申し上げます。 埋蔵文化財保護と史跡整備への理解を深めていただく事業として、6月15日に第2回「カリンバ土曜講座」と第2回「学芸員の展示解説」を、7月20日に第3回「学芸員の展示解説」を、7月27日には「土器づくり」や「まが玉づくり」などの体験を主体とした「第11回カリンバまつり～君も縄文人になろう！」を、8月23日に第4回「学芸員の展示解説」を、9月8日に第5回「学芸員による展示解説」を開催し、多くの皆さんに参加をいただきました。 次に、3月15日に国の文化審議会から文部科学大臣に重要文化財への指定が答申されていた「西島松5遺跡出土品」についてですが、8月27日付で正式に指定が決定しましたので、ご報告申し上げます。 これにより、恵庭市では「カリンバ遺跡墓坑出土品」に次いで二つ目の重要文化財が誕生することとなり、大変喜ばしいことと受け止めているところであります。
アイヌ文化関連事業について	最後に、アイヌ文化関連事業について申し上げます。 アイヌ文化を保存・継承・振興するとともに、アイヌ民族の歴史や文化に対する理解を深めていただく事業として8月24日に開催した

「アイヌ文化学習見学会」では、多くの市民の方々に参加をいただき白老町の「国立アイヌ民族博物館」、登別市の「知里幸恵銀のしずく記念館」などを見学していただきました。

また、市内の小中学生6名の参加によるアイヌ文化マスター育成事業の全8回のうち、6月30日に第1回を、7月14日から7月15日にかけて第2回を開催いたしました。

今後も講座や観察会、体験学習会など各種啓発・普及事業を推進して参ります。

以上、令和6年第2回定例会以降における教育行政報告の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため、一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。